ワンタッチビューVer4 マニュアル

Vol 0.1

機器構成

■ ワンタッチビューVer4(以下「OTV4」と呼称)の構成図





操作タブレット(1台)

※ディスプレイ・タブレットは複数配置可能です。
※ディスプレイ・タブレットの合計が4台以上 になる場合は別途Wi-Fiルータが必要です。
※ログ出力環境には、「NTPサーバ(RTC搭載型Linux)」 「ログ収集用のUSBメモリ」が必要です。

STBの背面LANコネクタ説明

サーバ用STB、ディスプレイ用STBのそれぞれのLANポートの使い方は以下通りです。



ディスプレイ画面説明



ディスプレイ画面のデザインとレイアウト

管理者設定でディスプレイのデザインとレイアウトの組み合わせを選択できます。

■標準モード(例)



・デザイン「シック(ブラウン)」 ・レイアウト「1+9枠」



・デザイン「クリニックブルー」 ・レイアウト「1+3枠」



・デザイン「クリニックブルー」 ・広告表示+1枠(動画再生中)



・デザイン「クリニックブルー」
・広告表示+3枠(動画再生中)

「縦サイネージ」用のレイアウトは ディスプレイを「縦」方向に回転させて使用します。 ※タブレット側の「レイアウト」設定変更



■標準モード「縦サイネージ」

■受付モード「縦サイネージ」

操作端末でのメニュー表示方法

操作タブレットは以下の操作でメニューを表示できます。

■メニュー画面の出し方

タブレット端末の上部から下部に向けて指をスライドさせます。 すると、右図のように「

「

アイコンが表示されるので、このアイコンをタップします。



上部から下部に向けて指をスライド

■メニュー説明

①モード切替:操作画面を「タッチパネル操作」か「テンキー操作」に変更できます。

・更新:表示中の画面をリフレッシュ更新します。

②管理者設定:ユーザが自由に変更可能な文言変更、サイネージ設定を行うための画面を表示します。

・バージョン確認:アプリのバージョン、OSのバージョン、STBアプリのバージョン、STBのOSのバージョンの確認ができます。

・メーカメンテナンス設定:メンテナンスサブメニューを表示します(パスワード保護、通常使用しません)。

①モード切替

操作タブレットには2つの操作方法があります。

■ワンタッチ操作(タッチパネル)

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	•
31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	
41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	

- ・1 画面に50 個ボタンを表示します。
- ・連続番号で2画面(計100個のボタン)。
- ・「オフセット値」で開始番号を1以外

にすることが可能です(※工場出荷時に設 定いたします。出荷後の変更はお問い合わせ ください)。

■テンキー操作(若番/直近が前/直近が後)



- ・設定した順に並びます。
- ①若番 :若い番号を先に表示
 ②直近が前:直近の呼び出し番号を先に表示
 ③直近が後:直近の呼び出し番号を後ろに表示
 ・テンキーで呼び出し番号を選択します。

・最大9999まで対応しています。

呼び出し番号の「取消し」と「再呼び出し」

この機能は「受付モード」か「複数表示モード」のときのみ有効です(※ボタンが表示されます)

■取消し



・準備中の番号、呼び出し中の番号を 即時消去することができます。



■再呼び出し



・指定した番号を即時呼び出し中にすることができます。

・すでに呼び出し中の番号の場合、再度番号の読み上げ、呼び出しを 行うことができます。



即座に呼び出しが可能

ABC対応(OTV3以降)

呼び出し番号に「A12」や「B5」のように番号の頭に「A/B/C」の文字コードを付与することができます。 呼び出し番号は必ず「(記号1文字)+数字」の形式になります。(それ以外の入力はできません) ※このモードは工場出荷時に設定いたします。出荷後の変更はお問い合わせください。 操作タブレット側、ディスプレイ側STBの両方で「テンキーABC表示運用」のチェックを入れて運用する必要があります。

■操作タブレット側



ABC時:



このモードのとき「ABC」の1文字を押す前に

番号ボタンを押すことができません。

(必ず「記号1文字+数字」になるようにします)



②管理者設定:メニュー(モード変更)



以下3つのボタン押下で各モードを変更することができます。

モード変更	ボタンを押下すると、以下のメッセージが表示されます。				
	Reference in the second sec				
キャンセル					

各モード説明

■標準モード

標準的な番号呼び出し

■受付モード

・待ち受け番号 ・呼び出し番号

の表示で呼び出し



- ・待ち受け番号
- ・呼び出し番号(1つのみ)

を複数のグループで表示し呼び出し



※ワンタッチコールと連動したとき、各モードの呼び出しタイミングと同時に呼び出しをします。

複数表示モードでのグループ設定:レイアウト編集

「複数表示モード」では、最大10個までグループを設定できます。 タブレットから「管理者画面」→「レイアウト編集」で行います。 ※「レイアウト編集」は複数表示モードのときのみ表示されます。 ※どのタブレットでグループの





■ 操作例(グループは3つ、タブレットは3つ)

①タブレットAで「内科」、タブレットBで「泌尿器科」、タブレットCで「整形外科」を1つのディスプレイ画面に表示します。 ②テンキーを使いタブレットAで番号123と456、タブレットCで番号111と222を呼び出し待ち番号にします。

ディスプレイ画面の「内科」と「整形外科」の呼び出し待ち番号に番号を表示します。

③次に、タブレットAで呼び出し待ち番号456を呼び出します。呼び出し待ち番号だった456が「内科」の呼び出し番号に移動します。





④タブレットAで456をタップすると、「内科」の呼び出し番号456が削除されます。
 呼び出し番号を消去せずにタブレットAの123を呼び出ししした場合、456は消えて123を呼び出

②管理者設定:個別設定メニュー



②管理者設定:文言設定







■文言設定

- ・太字にするチェック(チェックすると太字になります)
- ・文言内容(※改行も画面上に反映されます)
- ・フォントサイズ:半角数字で適切な数字を入力してください。
- ■テロップ表示 下記より選べます
- ・テロップなし(テロップ枠は残す)
- ・テロップなし(テロップ枠も削除)
- ・テロップあり

内容(テロップの文言を入力してください)

②管理者設定:表示デザイン設定(1/4)



②管理者設定:表示デザイン設定(2/4)※受付モード、複数表示モードのみ

②管理者設定:表示デザイン設定(3/4)

②管理者設定:表示デザイン設定(4/4)

■WEB広告(STB側USB)の場合

Ver1同様、「サーバ側STB」に接続したUSBメモ リの「web」フォルダ内にあるHTMLファイルを参 照します。

このUSBメモリ内にHTML ファイルを配置します。

■動画広告(画面側SD)の場合

「ディスプレイ用STB」に挿入されているmicroSDカードの「video」 フォルダ内にある動画ファイルを参照します。 参照可能な動画はavi、mp4形式になります。

ログ取得に関して(1/2)

OTV4ではネットワーク内でNTPサーバが有効な場合に限り、操作ログ(正確には指定番号のコール情報)を記録 することができます。本モードが必要な場合、サーバ用STBにNTPサーバの設定を環境に合わせて、出荷時にする 必要があるため、出荷前にお申し付けください。

■ ログ収集用のUSBメモリを用意する → (E) A前 PCにUSBメモリを挿し、USBメモリ内に Logsフォルダを生成します。

■USBメモリでログを収集する

 サーバ用STBの電源ONの状態で USBメモリを挿入します。

④PCにUSBメモリを挿入してログファイルを確認します。
 logsフォルダ内にcustom.log
 (※1ログファイル80MB以上になった場合は、
 custom.log.xxxxxxというファイルを生成します)

②USBメモリが刺さっている間、自動的に ログがUSBメモリに記録され続けます。

③ログ収集後、USBメモリを抜きます。 故障防止のため、可能であればUSBメモリを 抜く際にはSTBの電源をOFFしてください。

ログ取得に関して(2/2)

2022-11-12 04:30:09 : ModeChange :(01)Normal Mode 2022-11-12 04:35:38 : ModeChange :(02)Uketuke Mode 受付モードに切り替え操作したときのロ	コグです
2022-11-12 04:35:38 : ModeChange :(02)Uketuke Mode 【Uketuke Mode】 受付モードに切り替え操作したときのロ	
	コグです
2022-11-12 04:37:09 : ModeChange :(03)Fukusuu Mode 【Fukusuu Mode】	キのログでオ